

令和3年度第2回長久手市放課後子ども教室運営委員会

開催日時	令和4年3月3日(木曜日) 午前10時から午前10時50分まで
開催場所	長久手市役所 会議室棟 会議室H
出席者氏名 (敬称略)	委員長 長久手市立北小学校長 勝谷 晋也 職務代理者 主任児童委員 藤倉 須美恵 委員 愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科教授 田村 佳子 委員 長久手市国際交流協会 浅井 弘子 委員 長久手市立北小学校PTA会長 岩崎 大輔 委員 西小学校区まちづくり協議会長 吉田 貢 委員 長久手市教育部教育総務課長 貝沼 圭子 (事務局) 子ども部次長兼子ども未来課長 飯島 淳 同児童館長 生田 良美 同課長補佐兼児童係長 柴田 浩善 同児童係主事 笠島 千波 同東小放課後子ども教室コーディネーター 伊東 久範
欠席者氏名	なし
審議の概要	1 あいさつ 2 議題 (1) 令和3年度長久手市放課後子ども教室について (2) 令和4年度実施に向けた検討事項について (3) その他 3 その他
公開・非公開の別	公開
傍聴者人数	0名
問合せ先	子ども未来課 電話：0561-56-0616

会議録

1 あいさつ

2 議題

- (1) 令和3年度長久手市放課後子ども教室について

事務局

(資料1に基づき説明)

- ・参加決定者数について (令和4年1月31日現在)
- ・月別参加率について
- ・体験プログラムの実施について (令和4年1月31日現在)

委員

ドローン教室はどのような内容か。

事務局

ドローンの基礎知識をクイズ形式で子どもたちに教えた後、1人ずつ操作の体験をして、最後にドローンに搭載されているカメラで集合写真を撮影した。

委員

ドローンは気軽に遊べて、今後さらに使う機会が増えると予想されるため、最低限のルールを教えられると良いと思い、質問した。

事務局

長久手市内でも、東小学校区はドローンを飛ばすことができるが、市街地などでは禁止されている。ボランティア講師からそういったルールの説明もあり、子どもたちにとっては非常に勉強になったと思う。

委員

東小学校放課後子ども教室は外部講師による体験プログラムを極力減らしているというのだが、それによる弊害はでていないか。

事務局

週1回曜日固定での参加に変更になったため、すべての曜日で平等に体験プログラムを実施することはむずかしい。そこで、コーディネーターと支援員で工夫して、科学を絡めた工作を中心に子どもの興味関心を引く体験プログラムを実施している。

委員

西小学校放課後子ども教室ではキッズ防災を実施していないため、今後実施できると良いと思う。さらに、キッズ防災とドローン教室など、関連した内容の体験プログラムを合わせて実施できると良いと思う。

事務局

全教室で幅広い内容の体験プログラムを実施できるよう検討させていただく。

委員

それぞれの体験プログラムを単独で実施しても子どもたちは関連付けることがむずかしいため、キッズ防災とドローン教室のコラボは非常に良いと思う。

事務局

今後の運営の参考とさせていただく。

委員

北小放課後子ども教室は、他の教室に比べて地域ボランティア講師による体験プログラムの実施回数が少ないが、月別の参加率が低いわけではない。東小学校放課後子ども教室を含め、子どもたちの過ごし方をどのように工夫しているか。

事務局

東小学校放課後子ども教室では、一ヶ月の半分を理科と絡めた内容とし、残りの半分を支援員が考えた工作等としている。体験活動はコーディネーターと支援員で相談して決めており、地域ボランティア講師の体験プログラムに負けないような、子どもたちが楽しめるもの、喜ぶものを意識して実施している。体験活動以外の時間は外遊びやおもちゃでの遊び、学習などをして子どもたちは過ごしている。

委員

コロナ禍でむずかしい状況だとは思いますが、「新・放課後子ども総合プラン」についてはどのようになっているか。

事務局

現在はコロナ禍で実施できていないが、状況に応じて放課後子ども教室の体験プログラムを放課後児童クラブの子どもたちが体験できるようにするなどの連携を復活させたいと考えている。

事務局

行政改革の取組として、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体化の検討を進めている。現時点では具体的に示すことができないが、学びの場を確保しながら、放課後の子どもの居場所も確保できるよう検討を進めていく。市の方針が決定したら本委員会で説明させていただく。

また、現在放課後子ども教室は、週1回曜日固定で全員参加としている。未だコロナ禍ということもあり、当面は引き続き現在の参加方法を実施していくが、新型コロナウイルスの収束状況に応じて、参加定員の緩和で週2回の参加とするなどの対応を検討する。こうしたことも含めて、今後の放課後児童クラブと放課後子ども教室の事業の整理を進めていく。

委員

グラウンドゴルフの講師はどなたがやっているのか。

事務局

地域のシニアクラブの方に講師をしていただいている。

委員

放課後子ども教室は交流の場でもある。核家族が増えている中で、グラウンドゴルフは異なる世代が交流できる良い機会となっている。現在は西小学校放課後子ども教室のみで実施しているが、他の3校の放課後子ども教室でもぜひ実施していただきたい。

(2) 令和4年度実施に向けた検討事項について

事務局

(資料2に基づき説明)

- ・令和4年度の申込状況について
- ・体験プログラムについて

委員

仕事やボランティアで子どもたちの学習支援をしている中で、自分のことを表現することが苦手な子が多いと感じる。また、怒りなどの感情のコントロールができない子もいる。学校の総合の授業などで実施しているかもしれないが、放課後子ども教室でも子どもたちがたくさん発言したり、感情を表現できるようなプログラムがあると良いと思う。

委員

反対に、怒りをぶつけられたり、いじめに遭ったりして、自分が被害者になった場合の対応も学べると良いと思う。

委員長

小学校では、セルフディフェンスの授業も取り入れ始めている。小学校以外でも、楽しみながら学べる場があると良いと思う。

委員

1回だけではなく、様々な場所で同じことを繰り返し聞くと、定着する。子どもたちに良い影響を与える場面づくりが大切だと思う。

委員

議題1での提案と重複するが、ドローン教室とキッズ防災など、複数の体験プログラムの関連付けや合わせての実施ができると良いと思う。

(3) その他

委員

市が洞小学校での放課後子ども教室の実施についてはどのようなになってるか。

事務局

市内6つの小学校のうち、長久手小学校と市が洞小学校では放課後子ども教室を実施できていない。小学校の余裕教室がなく、実施場所の確保が難しいため、現時点では実施できる見通しは立っていないが、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体化を進めていくのと平行して、長久手小学校と市が洞小学校での放課後子ども教室の実施についても引き続き検討していきたいと考えている。

3 その他

特になし

委員長

事務局はここで出た意見を運営にしっかり活かしてほしい。

事務局

本日も忙しい中集まっていたいただき、また貴重な意見をいただき感謝する。今日いただいた意見は早速検討していきたいと考えている。